

教育・研究などへの取組状況

総合工学システム学科 都市環境コース 教授 新納 格

項目	取組状況
教育	<p>◆ 平成28年度担当科目 土質環境工学Ⅰ（3C）、土筆環境工学Ⅱ（4C）、水・土質環境実験（4C）、防災工学（5C）、技術英語（5C）、企業経営（5年共通）、地盤工学特論（専攻科2年）、</p> <p>◆ 担当科目の取組状況（工夫・改善した点） 土質環境工学ⅠとⅡ、防災工学、地盤工学および企業経営は、自筆の教科書を使用している。技術英語は土木建築分野の適当なテキストが見当たらないため、他分野のテキストを参考にして作成したオリジナルの講義テキストを使用している。</p> <p>◆ 特記すべき教育方法の実践例 日本技術士会などと連携し、第一線の技術者による講義（防災工学（5C）、企業経営（5年共通）および地球環境工学（5C））を実施している。</p> <p>◆ 校長顕彰などの受賞 平成23年3月、平成27年3月および平成29年3月に受賞。</p>
研究	<p>◆ 平成26～28年度における研究業績</p> <p>■ 著書</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・常田，渋谷，新納ほか：基礎からの土質力学，理工図書，平成29年3月。</li> <li>・常田，渋谷，新納ほか：理解を深める土質力学320問，理工図書，平成29年3月。</li> <li>・新納，末利，間島，杉本ほか：初学者向け技術経営テキスト 実践向け例題付き，理工図書，平成26年3月。</li> </ul> <p>■ 学術論文執筆</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新納ほか：鉄鋼スラグの高pH水拡散特性と生態系への影響に関する研究，第11回環境地盤工学シンポジウム発表論文集，地盤工学会，pp.251-254，平成27年7月7日。他4編</li> </ul> <p>■ 学術講演会での発表</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・新納，平山：塩化鉄および塩化ナトリウムがベントナイトの平衡膨潤圧に与える影響，平成28年度土木学会関西支部年次学術講演概要集，平成29年5月。他5編</li> </ul> <p>◆ 平成26～28年度における外部資金獲得状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公益財団法人原子力安全研究協会：鉄-ベントナイト混合系での二次鉱物の生成に関する試験，平成28年1月。他3件</li> </ul> <p>◆ 学会などでの受賞 公益社団法人日本技術士会 近畿本部長表彰（平成26年6月）</p>
社会貢献	<p>◆ 平成26～28年度における公開講座・出前授業の取組状況 公開講座スーパージェットモルタルによる手形製作（平成26年3月から毎年度実施）</p> <p>◆ 平成26～28年度における学会などでの委員 最高裁判所，日本技術士会，中小企業庁，大阪府，兵庫県などの委員</p>